

還暦を迎えた6期生の皆さんへ

今年度、還暦を迎えられた第6期卒業生【昭和58(1983)年3月卒業】の皆さんに向けて、当時の担任団の先生方からメッセージをいただきました。

先生方には同窓会より連絡を取らせていただき、還暦になった皆さんに向けて、字数も内容も特に決めず、自由にメッセージを書いていただくよう、お願いをしました(植松先生、榎本先生は、自筆をファックスで送っていただいたものをそのまま掲載しています)。また、今回は特に、昨年11月の皆さんの“還暦同窓会”にご出席の佐々木悦子先生にもゲストとしてご投稿いただきました。

皆さんそれぞれの高校時代、そして当時の先生方を思い出しながら、どうぞご覧ください。

ちなみに右の写真は、6期の皆さんが卒業の際に「卒業記念品」として学校に贈った、中庭のケヤキの木です。今や、卒業アルバムの学年集合写真の中央に毎年掲載される、金井のシンボリック的存在になっています。



3年 1組 国 分 修 先生

金井をはなれてほぼ40年。私(国分)はどうなっているか？

私の現況は、顔と名前とがむすびつかなかったりするなど「記憶は おぼろに」、平らな場所でも歩きづらい(腰痛・膝痛)など「体力の衰え」が急速に生じて、立派な「後期高齢者」となっている。ただ”Brain rot”(脳の腐敗)はまだだと願っている。

きっかけはコロナ騒動で、引きこもってしまったためだろう。コロナ直前に、焼失した首里城、無残に埋め立てられた辺野古など沖縄を元気に巡って(怒り狂って)いたのだから、気力・体力も健在だった。

人間関係の途絶・運動量の減少は怖いものだ。

日常生活は、人間関係・運動量の増大にはつながらず、古いレコード(アナログLP)を聴き、永年の「積ん読」書籍を読んでいる(時間的に全部は無理だろうと感じている)。

みなさん、豊かな人間関係・運動量を維持して、充実した老後をお過ごしください。

3年 2組 原 木 克 巳 先生

私は、9月にも6期生の2年9組の還暦同級会で教え子たちと久しぶりに再会し、卒業学年の3年2組の教え子たちとも11月の還暦同窓会で会うことができ、楽しいひと時を過ごさせてもらいました。金井高校6期生は、私の教員生活の中で、一番思い出深く、印象深い生徒たちでした。

今でも鮮明に思い出す出来事が3つあります。まず、金井高校に赴任して2年目、2年9組を担当した時の年齢は29歳でした。2年9組では、修学旅行で生徒指導上の問題を起こした生徒を、倉敷から帰宅させねばならなかったこと。次に3年2組では、1学期末の球技大会後の打ち上げでクラスの約半数が生徒指導部のお世話になり、夏休み中に何人もの家庭を訪問したこと。最後に、夏休みの早朝5時に鎌倉の警察から、海岸で生徒たちが騒いでいるとの電話があって飛び起き、すぐに向かうと、文化祭のクラス出し物の映画を撮っていたということで、警察から口頭注意だけで収まったこと。

まあ、いろいろとやってくれる連中だなあと、その時はマジ疲れましたが、今では懐かしく、面白い出来事でした。強烈な思い出を作ってくれた6期生が懐かしいです。金井高校で教壇に立っていた11年間は、楽しく、思い出に残る教員生活を送ることができたと思っています。

私が教員を目指した時、生徒たちが仲良くなって一生の友達になれるようなクラスにしたいと思っていました。2年9組の教え子たちも、3年2組の教え子たちも、9月の同級会と11月の同窓会で、今でもずっと仲の良さが続いていることを改めて知って、心から嬉しく思いました。

11月の還暦同窓会に私たち教員も招かれて、教え子たちの前に出た時、ワ～っと歓声が上がった時は嬉しかったです。みんなが覚えていてくれたのだ、と。時間の関係上、ひとり2分で挨拶をと言われ、ありきたりの一

言で終わってしまったことを悔やみました。教え子たちと話している中で、校歌を忘れたと何人かが言ったため、校歌を歌えばよかったと後悔しました。金井高校初代校長作詞、初代 PTA 会長作曲の金井高校校歌は、私が勤務した5校の中で最も好きな校歌でした。1番、2番を歌うと、ほぼ 2 分になるので。もし、今度同窓会に招かれることがあったら、是非校歌を歌いたいと思います。

退職後の私の生活は、もっぱら趣味と家の掃除に時間を費やしています。退職直後の2年間、東京のプコの声楽家のレッスンを受けました。声楽は高校から続けていて、合唱団で歌っていましたがコロナ禍により退団し、今は家に防音室を設置して声を出しています。小学校3年から高校1年まで続けていたヴァイオリンも防音室で奏でています。高校1年から3年まで弾いていたピアノを、退職後電子ピアノに変え、ヘッドホンをつけて簡単な曲に挑戦しています。

私は巳年生まれなので、来年は年男になります。そのような年齢ですから、歌は誤嚥性肺炎予防のため、ヴァイオリンとピアノは指を動かして認知症予防のためにやっているようなものです。また、金井高校に勤務していた時、美術の岡崎先生が油絵を教えてくださいました。そこから絵を描くことに興味を持ち、趣味が1つ増えました。油絵から、パステル、水彩を経て、現在は色鉛筆で絵を描いています。今年、4 年ぶりに藤沢市展にB3の大きさの作品を出品しました。

我が家では、妻が退職してから、美味しくて栄養があり、健康的な料理を作ってくれるので、ほとんど外食をすることがなくなりました。外食する際、妻の料理を超える店を探さなければなりません。食事が楽しみになる料理を作ってくれるので、料理を妻に任せ、私は掃除に力を入れるようになりました。最近では、もしかして掃除が趣味の 1 つになったかとも思ったりしています。

とりあえず、もうすぐ 72 歳になる年齢ですから、定期的に病院で検診したり、薬を飲んだりして、ガタが来ているところはありますが、まあ元気に過ごしております。

3年 3組 松 本 和 子 先生

先日の同期会には出席できず、失礼しました。残念ながら用事があって参加出来ませんでした。皆さんがお元気だったと佐々木先生から伺い嬉しく思いました。

私の頭の中にいる皆さんは、多少のあどけなさを残しつつも青年になりかかっている高校生でしたが、その皆さんがもう還暦とは、ちょっとした驚きです。

私は 80 歳になりました。私は長生きをするとは思っていなかったのですが、知らぬ間に 80 歳になりました。それでも女性の平均余命は 87 歳だそうですので、まだ人並の年齢には至っていないようです。そんな訳で皆さんのお役に立ちそうなことは申し上げられませんが、何事も前向きに楽しく取り組んできたことは確かです。

お蔭様で大病をすることもなく、ご町内の皆さんと楽しく活動しています。月曜日は移動販売の係。火曜日は筋トレ。(いつの間にか前へ出て号令をかけています。)木曜日は編み物教室。(もう 21 年目になり、どんどん作品が出来ていくのに、着る人は一人なので、たまる一方です。たまに先生から頼まれて作品を編んだりしています。)金曜日は自彊術という体操教室に通っています。それから月に1回、町内の老人たちの茶話会があり、私は歌の伴奏と脳トレを担当しています。そんな風でかなり多忙な 80 歳です。

教師時代を思い出してみると、拙さのみが思い起こされ、皆さんに申し訳なかったという思いが募ります。寛容だった皆さんへの感謝と共に、ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

3年 7組 杉 浦 敏 昭 先生

先日は同期会にお招き頂きありがとうございました。初めて担任を持った生徒達が還暦を迎えるというので感慨もひとしおです。6期生はなかなかワイルドな学年でした。よくも悪くもパワーにあふれていて次々起きる事件への対応に追われていたような気がします。自分も教員になりたてで若かったので今考えるといろいろ失礼なことを言ったりしたりしていたなあと思います。その節は失礼しました。

60 歳で定年してからも再任用や非常勤講師で 10 年間働きました。働く時間が短くなったのでその間に自転車で日本を縦断しました。九州の南端から北海道の北端まで1回4日で 250km 程度ずつ 15 回に分けて走り、70 歳の時に稚内にゴールしました。記録はブログになっているので興味のある人は見てください。

<http://blog.livedoor.jp/yts510730/>

走っている時は大したことないと思っていましたが、今からはとてもできないなと思います。写真を見ても

60歳の頃はまだ若々しい感じでした。先日の同期会でも皆さんの顔を見て若いなあと思いました。だから6期生のみなさんもまだこれから少なくとも10年は自分のやりたいことをやっていけると思います。がんばってください。

70歳になって自転車旅はつらいので一応卒業して、今はお城めぐりなどしています。普段家にいると邪魔なので、民生委員を引き受けて、地域の高齢者の見守り活動などをしています。働いている間は地域の活動には全く関わってこなかったのが自分が動けなくなるまでの短い間ですが少しでも役に立てばと思っています。皆さんも定年後余裕ができれば地域福祉活動に手を貸して下さい。

3年8組 吉井 友二先生

先日は還暦同窓会に参加させていただき、ありがとうございました。

懐かしい人に出会い、楽しい時間を過ごせました。

6期生と同じ時間を共にした1980年代の初めは、私の教員生活を作り上げる原点になった時期でした。

1979年にアメリカでスリーマイル島原発事故が起こり、原子力発電所の危険性が分かり、授業で使える副教材づくりに取り掛かったのがこの頃です。

それ以来40年以上にわたって原発問題は私のライフワークになっています。

また、82年には文部省の教科書検定が大きな国際問題になりました。「侵略」を「進出」に書き換えさせるなどの検定の事例は、そのまま授業で使いましたが、覚えているでしょうか？

当時のへたくそな授業の中では、わりとうまく授業ができたかなと思っています。

私は還暦・60歳になって、それまでの教員生活のまとめとして『これからの脱原発・教科書・平和教育』（七つ森書館）という本を出版しました。その中に、ちょうど6期生の皆さんとの授業などをまとめた「教科書問題を授業で取り上げる」という文章を載せています。

機会があれば、目を通していただければ幸いです。

3年11組 植松 春夫先生

（PC版では、先生直筆のお手紙で掲載しております）

六期生の皆さん、還暦同窓会の開催おめでとうございます。

六期生を三年間担任しました植松でございます。金井高校には十二年間在職し、三期生、六期生、十期生を学級担任として送り出しました。その時どきの世相を反映し、学年の特色がありました。六期生は自己顕示欲が旺盛で個性的な生徒が多かったにも拘らずクラスのまとまりがありました。クラスでパーティをやったり、仲間と語り合うのを楽しんでいる様子が今でも印象に残っています。高校生活を満喫されたのではないのでしょうか。

先程、「世相を反映して」と述べましたが、六期生が在籍した三年間は、全国的に見ても”バイク事故”が多発した時代でした。この学年でもバイク事故に遭遇し、重傷を負った生徒がでて、指導する立場として、自分の力不足と責任の重さを痛感しました。色々な意味で私に多くの気づきを与えてくれた学年でした。

さて、皆さん高校を卒業して四十数年が経ちました。様々な分野でのご活躍を知り、嬉しく、又誇らしく思っています。ありがとうございます。本当におつかれ様でした。六十歳は、人生の節目。これからは日々の生活を楽しみながら、還暦おじさん、おばさんパワーを発揮して日本を元気にしましょう。

陰ながら、皆さんのご健勝、ご多幸をお祈りしています。

六期生学年担当 植松 春夫

3年12組 榎本(山崎) 芳雄先生

（PC版では、先生直筆のお手紙で掲載しております）

皆様方それぞれの立場で、お元気でご活躍のことと存じます。私は七四才になりましたが、三月には七十五才になります。お陰様で多少運動能力が低下した以外は元気で過ごしています。

以前は農作業をしていましたが、最近はもっぱら思いつくままにパソコンで文章を書いています。自分の子や孫に先代が何を考えながら生きてきたのか分かるように昔の記憶や今思うことなどを活字にして残したいからです。

自分の故郷の奥秩父のことから書き始めました。もう少し時間が必要そうなのでうっかり死なないように頑張っているところです。

榎本 芳雄

《ゲスト》

女子バスケ部 佐々木 悦子 先生

先日の還暦同窓会に呼んで下さりありがとうございました。楽しい時間を共有できて嬉しいことでした。特に、バスケット部の部員に会えて幸せでした。

当日、真っ先に感じたことは「いやあ、ホント、60 歳なんてまだまだ若いなあ！ 声がデカイ。動きがテキパキしている。話が面白い。そして、笑顔が素敵！」

42 年振りに会った昔の高校生、今の 60 歳の皆さんの第一印象です。

まだ、何者にもなっていない高校生。どんな人生になるか想像もつかない 10 代の後半。

それからの 42 年間の人生や生徒たちの経験したであろう苦労や困難に思いを馳せ、それを乗り切って今、笑顔でここに集う 6 期生に心から「よく、頑張ってきたね」と内心、褒めていました。

50 歳代の勢いがまだ十分に残っている 60 歳代です。身体的にも大丈夫。やりたいことはどんどんやればいい。大いに楽しんで下さい。精神的には 50 歳代よりももっと充実してきますよ。安心して下さい。若かった頃の生き辛さは殆どなくなっています。長い年月の中で自分にとってかけがえのない人たちもできたことでしょう。そんな周りの人たちを大切に、じっくりとこれからの生活を味わうのもいいかも知れません。また、まとまった時間を取れる可能性もあると思いますので、今までやりたくてできなかったことに挑戦することも 60 歳代の特権かも。

私は皆さんよりも 16 歳年長ですが、仕事が好きなので今も大学や中学校で先生(非常勤講師)をやらせていただいています。中学校では、不登校気味の生徒や特別支援の必要な生徒のサポートをしています。毎日、いろいろあって面白いですよ。大学では、これまでの経験から教職課程とスポーツマネジメントを担当しています。学生と一緒に学びながらたくさん刺激をもらっています。ボランティアで、発達障害の子やダウン症の子とスポーツや運動を週に 1 回やっています。そのせいか、年齢の割には元気な方だと思います。

と、言うことで、「人生、本当にこれからよっ！！」というメッセージを皆さんに贈りたいと思います。またどこかでお会いしましょう。

【訃報】

今回、6 期の先生方にご連絡させていただく過程で、3 年 9 組 緑川 正 先生が平成 22 年 5 月 20 日にご逝去されていたことがわかりました。

奥様とお話する機会がありましたが、金井高校は、市立から県立高校の教員になられて最初の学校で、ご家庭では、いつも実に楽しそうに学校での出来事をお話しされていたそうです。

ご冥福をお祈り申し上げます。